

# 事業評価シート

番号 2340930 1

## 【1.基本情報】

事業名	青少年講座		
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	青少年教育課 中央青少年会館
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード 1 - 5 - 0 - 0
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※	実施主体 (公財)岐阜市教育文化振興事業団
実施期間	昭和51 年度～	年度	根拠法令 岐阜市青少年会館条例、岐阜市青少年条例施行規則 関連計画※ 岐阜市教育大綱、岐阜市教育振興基本計画 岐阜市子ども・若者生き生きプラン

## 【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市の青少年を対象に体験活動や地域活動に関わっていくために必要な知識技能の習得及び創造性等を養うことを目的とする。	
事業の内容	<p>【少年講座】 子どもたちの才能開花や伸長を目指し、夢や志を育むための学びの場を提供する講座。</p> <p>【若者チャレンジアップ事業】 困難を有する若者やその保護者、支援者が心を開く相談や就労につながる自立支援講座を通して、社会的自立に向けての歩みだしを支援する事業。子ども・若者総合支援センター等で対応してきた20歳以降の若者の支援について、セーフティネットの強化・充実を図る。</p> <p>また、志ある若者がふるさと岐阜のよさに触れ、自ら街づくりコーディネーターを目指し、長良川おんぼくにプログラムを提案する講座を通して、企画・広報・ブラッシュアップの仕方等を学ぶ。</p>	
事業の対象	何を	青少年を対象とした各種講座
	誰に (対象者・対象者数)	市内の小・中・高校生、青年(18歳～おおむね40歳)
	どのくらい (具体的数値で)	定員20人程度講座を延べ42回開催
平成30年度 (実施内容)	<p>【少年講座】平成29年度より公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団へ委託 親子で体験講座(登山、田植え、川遊び、稲刈り)4回 世界にチャレンジ講座(外国の人とふれあう、カブト・科学のみつにせまれ)3回 キャリア講座(自衛隊・警察官体験、救命講習)3回 地域貢献スキルアップ講座(FC岐阜のサポート、高齢者・障がい者・小さい子・動物・車いすバス選手との交流)5回</p> <p>【若者チャレンジアップ事業】平成30年度より公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団へ委託 若者チャレンジアップ事業(自立支援講座)23回 長良川みちくさゼミ(長良川おんぼくにプログラムを提供)3回</p>	

## 【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	23,712	780	23,712	780	23,712	780
嘱託職員	5,304	520	5,304	520	5,304	520
アルバイト	0		0		0	
計(A)	29,016	1,300	29,016	1,300	29,016	1,300

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		1,332	4,953	5,000
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	委託料	0	4,000	5,000
	報償費	1,073	800	0
	消耗品費	210	110	0
	郵送料	49	43	0
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		1,332	4,953	5,000

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	30,348	33,969	34,016

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	30,348	33,969	34,016

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	受講者	受講者	受講者
受益者数	797	927	942
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	38,078	36,644	36,110

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	講座数	単位	講座
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	30	40	40
実績値	34	42	42

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	受講者数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	900	900	900
実績値	797	927	942

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	青少年をとりまく課題として、社会的モラルの低下や個人の孤立化等が進み、多様な人々の絆づくりやコミュニティの構築が必要である。  青少年の健全育成、学びの提供を目的とし、国や県、市の方針(岐阜市では教育大綱や「子ども・若者いきいきプラン」など)にそって各講座を設定している。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	900人以上の多くの利用があり、費用以上の効果がある。  公益財団法人に委託し、効率的な運用に努めている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	少年講座や若者チャレンジアップ事業に対する受講者の事業満足度がどれも90%以上を示しており、期待した効果を得ることができている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	前年度同様、より多くの市民が受講できるようにした。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	周りの動向を注視しながら、満足いただける講座を検討していく。また、公益財団法人に委託する数を増やし、更に効率的な運用に努める。

# 事業評価シート

番号 2340930 2

## 【1.基本情報】

事業名	リーダー養成(CVS登録・表彰制度)				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	青少年教育課 中央青少年会館		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成19年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市青少年会館条例、岐阜市青少年条例施行規則 岐阜市教育大綱、岐阜市教育振興基本計画 岐阜市子ども・若者生き生きプラン	

## 【2.事業概要】

事業の目的	「地域に貢献したい」という志をもって、自発的、主体的に行動できる中高校生を育てる。	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CVS登録証の発行。</li> <li>・地域活動を紹介する通信を年9回発行。</li> <li>・地域ボランティア講座を通じて、地域貢献の意義や求められる技能等の学習。</li> <li>・年度ごとの活動記録に基づき、認定証等を発行し、教育委員会が表彰。</li> </ul>	
事業の対象	何を	地域活動への参加
	誰に (対象者・対象者数)	市内の中・高校生のうち、CVS登録者
	どのくらい (具体的 数値で)	CVS登録証を発行し、地域活動に関する様々な情報や地域ボランティア講座の情報を随時提供する。
平成30年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CVS登録証の発行。</li> <li>・地域活動を紹介する通信を年9回発行。</li> <li>・地域ボランティア講座を通じて、地域貢献の意義や求められる技能等の学習。</li> <li>・年度ごとの活動記録に基づき、認定証等を発行し、教育委員会が表彰。</li> </ul>	

## 【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	7,670	260	7,904	260	7,904	260
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	7,670	260	7,904	260	7,904	260

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	消耗品費	150	262	251
	郵送料	47	51	51
	印刷			38
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		147	313	340

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	7,817	8,217	8,244

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	7,817	8,217	8,244

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	CVS登録者	CVS登録者	CVS登録者
受益者数	1,216	1,301	1,358
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6,428	6,316	6,071

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	CVS登録者数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	900	1,250	1,300
実績値	1,216	1,301	1,358

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	CVS表彰者数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	300	350	400
実績値	340	374	427

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	地域においても、中高生の力を必要としている。 また、生徒が自己有用感を得る為にも、認め、励ます場が必要。  学習指導要領においても、「中学生がボランティア活動や地域の人々と幅広く交流し、社会貢献や社会参加することが生きる力をつけることに繋がる」としている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	地域の情報収集や広報、認定、表彰事務が主であり、経費に比して普及効果は挙がっている。  自主的にボランティアの場を見つけることが望ましいが、自立するまでは、市で認め、励ますことが重要である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	中学時に行ったボランティア活動を機として高校生登録者が増加してきた。 ボランティアを継続的に取り組む生徒が増え、CVSの目的の一つである「きっかけづくり」が形となってあらわれてきている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	全中学校に登録用紙を配布している。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	費用は、主に事業にかかる消耗品であり、登録者数が増えていることから、見合った効果は得られている。 登録者の増加に対し、さらに諸団体に働きかけ、中高生の社会貢献の場を広げる。また、生徒主導で行う参画型のボランティアも行う。

# 事業評価シート

番号 2340930 - 003

## 【1.基本情報】

事業名	青少年会館(中央青少年会館を除く。)運営管理委託				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	青少年教育課 中央青少年会館		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※	実施主体	(公財)岐阜市教育文化振興事業団	
実施期間	平成12年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市青少年会館条例、岐阜市青少年条例施行規則 岐阜市教育大綱、岐阜市教育振興基本計画 岐阜市子ども・若者生き生きプラン	

## 【2.事業概要】

事業の目的	(1)青少年の活動拠点として(2)青少年育成団体の活動拠点として (3)地域住民の生涯学習施設として(4)地域の教育力を高める基地として	
事業の内容	(1)施設の管理 (2)施設使用の許可及び制限 (3)使用料の徴収及び減免 (4)岐阜市青少年会館条例第6条に規定する事業 (5)施設の管理上または施設の設置目的を達成するために教育委員会が認めた事業	
事業の対象	何を	青少年を対象とした各種事業及び施設の管理運営
	誰に (対象者・対象者数)	市内の小・中・高校生、青年、青少年育成者、一般市民
	どのくらい (具体的数値で)	4青少年会館
平成30年度 (実施内容)	(1)活動拠点支援事業 (2)学習拠点支援業務 (3)相談事業(若者支援) (4)講座事業	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	1,094	36	1,141	36	1,141	36
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>1,094</b>	<b>36</b>	<b>1,141</b>	<b>36</b>	<b>1,141</b>	<b>36</b>

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	委託料	36,202	36,694	36,694
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	1,094	1,141	1,141

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	1,868	1,838	1,721
その他			
<b>計(F)</b>	<b>1,868</b>	<b>1,838</b>	<b>1,721</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	-774	-697	-580

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	利用者	利用者	利用者
受益者数	79,006	76,891	81,334
受益者負担額(千円)	1,868	1,838	1,721
受益者負担率(%)	170.7%	161.1%	150.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	-10	-9	-7

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	4館 開館日数	単位	日
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	1,148	1,152	1,143
実績値	1,148	1,152	1,143

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用者数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	70,000	70,000	75,000
実績値	79,006	76,891	81,334

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	青少年及び青少年育成団体の支援や、青少年育成市民会議や子ども会活動の拠点として必要である。  上述の目的から、市が担う必要があるが、公益財団法人を指定管理者としている。
<b>効率性</b> (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	施設が老朽化し、整備点検や改修等のメンテナンス費用がかかるため、費用の面では厳しいものもあるが、市内全地域での均等な利用を確保しなければならないこと、青少年育成市民会議や子ども会活動の拠点となっていることから必要である。  公益財団法人が管理運営を行っている。
<b>有効性</b> (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	年間で約80,000人を超える多くの利用がある。 特に小中高生、大学生の学習の場、また学校生活や進路に関わる相談の場としても重要な役割を果たしている。
<b>公平性</b> (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市内にバランスよく配置されている。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	青少年及び青少年育成団体の支援や、青少年育成市民会議や子ども会活動の拠点の場、また小中高生、大学生の学習拠点の場として必要な施設であり、今後も青少年が利用しやすい環境整備に努めながら、会館運営を行っていく。

# 事業評価シート

番号 2340930 6

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜市子ども会育成事業委託		
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	青少年教育課 中央青少年会館
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード 1 - 5 - 0 - 0
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体 岐阜市子ども会育成連合会
実施期間	昭和41 年度～ 年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市教育大綱、岐阜市教育振興基本計画 岐阜市子ども・若者生き生きプラン

## 【2.事業概要】

事業の目的	子どもたちが学校外生活の場で、異年齢集団の中で活動することを通じ、その意義を正しく認識させ、子どもの健全育成に資することを目的とする。	
事業の内容	1地域に根ざした活動やレクリエーション活動等の子ども会活動 2子どもリーダーの養成に資するインリーダー研修会 3集団技術の向上に資する集団指導者講習会	
事業の対象	何を	子どもの健全育成を図ることを目的とした活動
	誰に (対象者・対象者数)	子ども会の加入者全員
	どのくらい (具体的 数値で)	生きる力を身につけさせるまで
平成30年度 (実施内容)	1地域に根ざした活動やレクリエーション活動等の子ども会活動 (1回以上実施) 2子どもリーダーの養成に資するインリーダー研修会 (5回以上実施) 3集団技術の向上に資する集団指導者講習会 (3回以上実施)	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	2,432	80	2,536	80	2,536	80
嘱託職員	612	60	618	60	618	60
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,044	140	3,154	140	3,154	140

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		4,500	4,500	4,500
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	委託料	4,500	4,500	4,500
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		4,500	4,500	4,500

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	7,544	7,654	7,654

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債	4,500	4,500	4,500
使用料・手数料			
その他			
計(F)	4,500	4,500	4,500

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	3,044	3,154	3,154

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	子ども会員	子ども会員	子ども会員
受益者数	18,491	18,188	17,657
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	165	173	179

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	子ども会加入率(加入者数/小学生数)	単位	%
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	100	100	100
実績値	91	90	87

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	49地域子ども会育成事業	単位	事業数
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	800	1,000	1,000
実績値	894	1,031	1,007

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	地域における異年齢間での交流が減少していることが、子どもの健全育成を妨げる要因の一つになっているとされている。 岐阜市内の子ども会を統括する唯一の団体であり、岐阜市が委託するのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	当団体は地域のボランティアであり、人件費はかかっていない。市内の全地域かつ岐阜市内の小学生の87%が加入しており効果は大きい。 岐阜市内の子ども会を包括することから、当団体以外では運営が困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	単位子ども会数が年々減少していく傾向にあり、小学生の子ども会加入率は87%と依然高いものの、平成30年度に初めて90%を割った。上部組織の会議や行事の見直しが進まず、会員の負担感につながっていることが大きな要因と考えられる。市内の全地域が加入しており、依然として大きな効果が期待されるため、上部組織への働きかけに努める。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	岐阜市全域を対象とした活動を行っている。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	改善	上部組織である岐阜市子ども会育成連合会は、単位子ども会との橋渡し役として相互交流を図ったり、子ども会の健全で安全な活動を推進するために寄与している。 構成する各地域子ども会育成会の意見が反映されやすい組織運営へと改善を図るように働きかけを続け、今後も当該団体の活動が見直しを図りながら円滑に実施できるよう助成する。



# 事業評価シート

番号 2340930 008

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜少年少女合唱団運営費補助金				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	青少年教育課 中央青少年会館		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	岐阜少年少女合唱団
実施期間	昭和43 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市教育大綱、岐阜市教育振興基本計画 岐阜市子ども・若者生き生きプラン	

## 【2.事業概要】

事業の目的	岐阜少年少女合唱団の活動運営費にかかる経費の一部を補助する。	
事業の内容	岐阜少年少女合唱団の活動運営費にかかる経費の一部を補助する。	
事業の対象	何を	合唱団の活動
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜少年少女合唱団の活動運営費にかかる経費の一部を補助する。
	どのくらい (具体的 数値で)	約30人を対象に予算の範囲内で補助する。
平成30年度 (実施内容)	岐阜少年少女合唱団の活動運営費にかかる経費の一部を補助した。	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	456	15	476	15	476	15
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	456	15	476	15	476	15

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		174	174	174
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	補助金	174	174	174
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		174	174	174

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	630	650	650

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	630	650	650

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	団員	団員	団員
受益者数	33	33	31
受益者負担額(千円)	1,362	1,210	1,374
受益者負担率(%)	216.2%	186.3%	211.5%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	19,091	19,682	20,952

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	団員数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	35	35	35
実績値	33	33	31

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	団員数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	35	35	35
実績値	33	33	31

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	地域における異年齢間での交流が減少していることが、子どもの健全育成を妨げる要因の一つになっていると言われている。  岐阜市内で活動する団体であり、岐阜市が委託するのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助額は少額ではあるが、青少年の指導者が一緒に活動する音楽活動を通して、学校や家庭ではできない体験をする中で、世代間の隔たりを乗り越え、人間としての成長がある。  他団体からの補助金交付は困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	音楽活動を通して、情緒豊かな感性や社会性を養うと共に、文化振興に貢献しており、これまでに1,200人以上にのぼる青少年の健全育成に貢献してきた。 また、学校生活においてうまく表現できない子が、自己有用感を得られる場となっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	広報活動を行うなどし、広く団員の募集を行っている。 公費負担額に比べ、団の負担額が大きく適正である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	日々の練習や定期演奏会などを行い、異年齢の交流を通して、青少年の健全育成と文化振興に貢献しており、当該団体の活動が円滑に実施できるよう助成する。

# 事業評価シート

番号 2340930 - 009

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜市子ども会育成連合会運営費補助金				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	青少年教育課 中央青少年会館		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	岐阜少年少女合唱団
実施期間	昭和43 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市教育大綱、岐阜市教育振興基本計画 岐阜市子ども・若者生き生きプラン	

## 【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市子ども会育成連合会が実施する子ども会活動推進事業を補助することで、少年の健全育成に資する。	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年子ども大会・子ども会育成者、指導者、その他の年少指導者の養成及び研修大会</li> <li>・子ども会の育成、指導に関する調査研究 ・ジュニアリーダークラブの育成指導</li> <li>・ブロック体制での子ども会活動 ・49地域子ども会育成会の会長会、常任委員会</li> <li>・子ども会育成者及び指導者、並びに関係機関及び団体との連絡調整</li> <li>・子ども会活動の安全対策を推進、並びに関係機関及び団体との連絡調整</li> <li>・子ども会活動の安全対策、並びに全国子ども会安全共済会制度の推進、子ども会の運営に関する予算の編成と執行</li> </ul>	
事業の対象	何を	合唱団の活動
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜少年少女合唱団の活動運営費にかかる経費の一部を補助する。
	どのくらい (具体的数値で)	約30人を対象に予算の範囲内で補助する。
平成30年度 (実施内容)	岐阜少年少女合唱団の活動運営費にかかる経費の一部を補助した。	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	4,560	150	4,560	150	443	150
嘱託職員	4,692	460	4,738	460	4,738	460
アルバイト	0		0		0	
計(A)	9,252	610	9,298	610	5,181	610

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		2,394	2,394	2,394
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	補助金	2,394	2,394	2,394
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		2,394	2,394	2,394

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	11,646	11,692	7,575

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	11,646	11,692	7,575

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	出席者	出席者	出席者
受益者数	2,162	2,155	2,134
受益者負担額(千円)	964	952	921
受益者負担率(%)	8.3%	8.1%	12.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5,387	5,426	3,550

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開催事業	単位	事業数
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	25	25	25
実績値	30	29	31

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	出席者数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	2,000	2,000	2,000
実績値	2,162	2,155	2,134

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	子ども会活動にあたり必要な指導者のスキルを身につけさせたり、KYT講習で安全対策を推進を行うことは、子どもたちの健全育成に貢献している。  岐阜市内の子ども会を統括する唯一の団体であり、岐阜市が補助するのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	ボランティア活動であり人件費はかかっていないが、出席者のみならず、その下にあるブロック、地域、単位における子ども会へも影響がある。  岐阜市内の子ども会を包括することから、当団体以外では運営が困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	49地域子ども会で構成される会長会、常任委員会を定期的に開催し、指導者や関係団体との意見交流を行い、各種事業を展開することで、子どもたちの健全育成に貢献している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	当該団体は、岐阜市内の87%の小学生が加入している子ども会活動を支えるボランティア団体であり、岐阜市全域を対象とした活動を行っている。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	岐阜市内の子ども会育成会との連絡調整を図り、子ども会活動の健全で安定的な推進のために寄与しており、当該団体の活動が円滑に実施できるよう助成する。

# 事業評価シート

番号 | 2340930 | 010

## 【1.基本情報】

事業名	日本ボーイスカウト岐阜市協議会運営費補助金				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	青少年教育課 中央青少年会館		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	日本ボーイスカウト岐阜市協議会
実施期間	昭和40 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市教育大綱、岐阜市教育振興基本計画 岐阜市子ども・若者生き生きプラン	

## 【2.事業概要】

事業の目的	日本ボーイスカウト岐阜市協議会は、ボーイスカウティング活動体験で、異年齢の縦のつながりを通して、好ましい人間関係や豊かな感性・社会性などを養う団体であるため、財政的に支援することで、好ましい人間関係や、豊かな社会性などを養う人材育成を目指す。	
事業の内容	日本ボーイスカウト岐阜市協議会の活動運営費にかかる費用を補助する。	
事業の対象	何を	ボーイスカウトの運営活動
	誰に (対象者・対象者数)	日本ボーイスカウト岐阜市協議会
	どのくらい (具体的 数値で)	約800人の団員を対象に予算の範囲内で補助する。
平成30年度 (実施内容)	日本ボーイスカウト岐阜市協議会の活動運営費にかかる経費の一部を補助した。	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	456	15	456	15	476	15
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	456	15	456	15	476	15

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		251	251	251
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	補助金	251	251	251
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		251	251	251

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	707	707	727

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	707	707	727

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	団員	団員	団員
受益者数	743	702	737
受益者負担額(千円)	120	110	150
受益者負担率(%)	17.0%	15.6%	20.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	952	1,007	986

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	団員数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	700	700	700
実績値	743	702	737

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	団員数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	700	700	700
実績値	743	702	737

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	地域における異年齢間での交流が減少していることが、子どもの健全育成を妨げる要因の一つになっていると言われている。  岐阜市内で活動する団体であり、岐阜市が委託するのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助額は少額ではあるが、702人の団員に影響を与えている。 青少年の指導者が一緒に活動するスカウティング活動を通して、学校や家庭ではできない体験をする中で、世代間の隔たりを乗り越え、人間として身体的、精神的な成長がある。  他団体からの補助金交付は困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	スカウティング活動において、異年齢のつながりを通して好ましい人間関係や、豊かな感性、社会性などを育み、多くの青少年の健全育成に貢献している。 また、学校生活においてうまく表現できない子が、自己有用感を得られる場となっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	広報活動を行うなどし、広く団員の募集を行っている。 公費負担額に比べ、団の負担額が大きく適正である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	青少年の指導者が一緒に活動するスカウティング活動を通して、子どもたちの健全育成に寄与しており、当該団体の活動が円滑に実施できるよう助成する。

# 事業評価シート

番号 | 2340930 | 011

## 【1.基本情報】

事業名	ガールスカウト岐阜市連絡協議会運営費補助金				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	青少年教育課 中央青少年会館		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	ガールスカウト岐阜市連絡協議会
実施期間	昭和40 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市教育大綱、岐阜市教育振興基本計画 岐阜市子ども・若者生き生きプラン	

## 【2.事業概要】

事業の目的	自然体験活動や、異年齢での生活体験が重要な今日、そういった活動を行う少年団体の1つであるガールスカウトの活動を財政的に支援することで、好ましい人間関係や、豊かな社会性などを養う人材育成を目指す。	
事業の内容	ガールスカウト岐阜市連絡協議会の活動運営費にかかる費用のうちの一部を補助する。	
事業の対象	何を	ガールスカウト岐阜市連絡協議会の活動
	誰に (対象者・対象者数)	ガールスカウト岐阜市連絡協議会
	どのくらい (具体的 数値で)	約90人の団員を対象に予算の範囲内で補助する。
平成30年度 (実施内容)	ガールスカウト岐阜市連絡協議会の活動運営費にかかる費用のうちの一部を補助した。	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	456	15	456	15	476	15
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	456	15	456	15	476	15

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		58	58	58
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	補助金	58	58	58
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		58	58	58

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	514	514	534

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	514	514	534

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	団員	団員	団員
受益者数	95	93	94
受益者負担額(千円)	344	325	155
受益者負担率(%)	66.9%	63.2%	29.1%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5,411	5,527	5,676

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	団員数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	80	90	90
実績値	95	93	94

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	団員数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	80	90	90
実績値	95	93	94

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	地域における異年齢間での交流が減少していることが、子どもの健全育成を妨げる要因の一つになっているとされている。  岐阜市内で活動する団体であり、岐阜市が委託するのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助額が少額であるが、青少年の指導者が一緒に活動するスカウティング活動を通して、学校や家庭ではできない体験をする中で、世代間の隔たりを乗り越え、人間として身体的、精神的な成長がある。  他団体からの補助金交付は困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	自然体験活動や異年齢での生活体験を通して、好ましい人間関係や、豊かな感性、社会性などを育み、青少年の健全育成に貢献している。 また、学校生活において表現できない子が、自己有用感を得られる場となっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	広報活動を行うなどし、広く団員の募集を行っている。 公費負担額に比べ、団の負担額が大きく適正である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	青少年の指導者が一緒に活動するスカウティング活動を通して、子どもたちの健全育成に寄与しており、当該団体の活動が円滑に実施できるよう助成する。



# 事業評価シート

番号 2340930 012

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜ジュニア吹奏楽団運営費補助金				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	青少年教育課 中央青少年会館		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	岐阜ジュニア吹奏楽団
実施期間	昭和57年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市教育大綱、岐阜市教育振興基本計画 岐阜市子ども・若者生き生きプラン	

## 【2.事業概要】

事業の目的	子どもの社会性や異年齢での生活体験が重要な今日、そういった活動を行う少年団体の一つである岐阜ジュニア吹奏楽の活動を財政的に支援することにより、好ましい人間関係や、豊かな社会性などを養うことを目的とする。	
事業の内容	岐阜ジュニア吹奏楽団の活動運営費に係る経費の一部を補助する。	
事業の対象	何を	吹奏楽団の活動
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜ジュニア吹奏楽団
	どのくらい (具体的 数値で)	約40人を対象に予算の範囲内で補助する。
平成30年度 (実施内容)	岐阜ジュニア吹奏楽団の活動運営費に係る経費の一部を補助した。	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	456	15	476	15	476	15
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	456	15	476	15	476	15

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		87	87	87
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	補助金	87	87	87
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		87	87	87

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	543	563	563

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	543	563	563

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	団員	団員	団員
受益者数	44	45	43
受益者負担額(千円)	1,841	1,871	1,870
受益者負担率(%)	339.0%	332.6%	332.4%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	12,341	12,500	13,081

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	団員数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	40	40	40
実績値	44	45	43

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	団員数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	40	40	40
実績値	44	45	43

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	地域における異年齢間での交流が減少していることが、子どもの健全育成を妨げる要因の一つになっているとされている。  岐阜市内で活動する団体であり、岐阜市が委託するのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助額は少額ではあるが、青少年の指導者が一緒に活動する音楽活動を通して、学校や家庭ではできない体験をする中で、世代間の隔たりを乗り越え、人間としての成長がある。  他団体からの補助金交付は困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	音楽活動を通して、情緒豊かな感性や社会性を養うと共に、文化振興に貢献しており、青少年の健全育成に貢献してきた。 また、学校生活においてうまく表現できない子が、自己有用感を得られる場となっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	広報活動を行うなどし、広く団員の募集を行っている。 公費負担額に比べ、団の負担額が大きく適正である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	日々の練習や定期演奏会、合宿を行い、異年齢の交流を通して、青少年の健全育成と文化振興に貢献しており、当該団体の活動が円滑に実施できるよう助成する。

# 事業評価シート

番号 2340930 013

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜市バトントワリング少年団育成連絡協議会運営費補助金				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	青少年教育課 中央青少年会館		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	岐阜市バトントワリング少年団育成連絡協議会
実施期間	平成6 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市教育大綱、岐阜市教育振興基本計画 岐阜市子ども・若者生き生きプラン	

## 【2.事業概要】

事業の目的	異年齢での生活体験が重要な今日、そういった活動を行う少年団体の一つである岐阜市バトントワリング少年団育成連絡協議会の活動を財政的に支援することで、好ましい人間関係や豊や社会性などを養うことを目的とする。	
事業の内容	岐阜市バトントワリング少年団の活動	
事業の対象	何を	バトントワリング少年団の活動
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市バトントワリング少年団育成連絡協議会
	どのくらい (具体的 数値で)	約110人を対象に予算の範囲内で補助する。
平成30年度 (実施内容)	岐阜市バトントワリング少年団育成連絡協議会の活動運営費に係る経費の一部を補助した。	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	456	15	476	15	476	15
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	456	15	476	15	476	15

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		30	30	30
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	補助金	30	30	30
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		30	30	30

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	486	506	506

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	486	506	506

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	団員	団員	団員
受益者数	106	110	104
受益者負担額(千円)	128	130	123
受益者負担率(%)	26.3%	25.7%	24.3%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,585	4,595	4,861

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	団員数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	50	50	50
実績値	106	110	104

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	団員数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	50	50	50
実績値	106	110	104

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	地域における異年齢間での交流が減少していることが、子どもの健全育成を妨げる要因の一つになっていると言われている。  岐阜市内で活動する団体であり、岐阜市が委託するのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助額は少額ではあるが、青少年の指導者が一緒に活動するスポーツ活動を通して、学校や家庭ではできない体験をする中で、世代間の隔たりを乗り越え、人間としての成長がある。  他団体からの補助金交付は困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	スポーツ活動を通して、好ましい人間関係や社会性を養うと共に、ボランティア活動や文化振興に貢献しており、青少年の健全育成に貢献してきた。 また、学校生活においてうまく表現できない子が、自己有用感を得られる場となっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	広報活動を行うなどし、広く団員の募集を行っている。 公費負担額に比べ、団の負担額が大きく適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	当団体は、市内・県内の各種イベントステージに出演し、信長まつり音楽隊パレードにも参加している。また団体演技・個人ソロコンテストなどバトントワリング大会に、多くの選手が出場した。異年齢集団の中で、好ましい人間関係やボランティア活動を通し、心豊かな人間形成を目指した活動をしており、青少年の健全育成と文化振興に貢献しており、当該団体の活動が円滑に実施できるよう助成する。

# 事業評価シート

番号 2340930 - 014

## 【1.基本情報】

事業名	中央青少年会館管理運営事業				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	青少年教育課 中央青少年会館		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成26年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市青少年会館条例、岐阜市青少年条例施行規則 岐阜市教育大綱、岐阜市教育振興基本計画 岐阜市子ども・若者生き生きプラン	

## 【2.事業概要】

事業の目的	敷地の維持管理及び岐阜市内の青少年や二十歳以上の若者等を対象とした、学校外・職場外・地域外の居場所的施設としての中央青少年会館の管理運営。	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地の財産維持管理。</li> <li>敷地内施設間及び地域住民との連絡調整拠点。</li> <li>岐阜市の青少年、なかでも悩める二十歳以上の若者にとっての相談先、居場所的機能の強化を図る。</li> </ul>	
事業の対象	何を	岐阜市に在住・在学・在勤する子ども・若者・育成者・高齢者の憩いや研鑽の場となり、明德地域の避難場所でもある、中央青少年会館及び旧明德小学校敷地内の施設整備や維持管理
	誰に (対象者・対象者数)	施設利用者、地域住民、悩みを抱える子ども・若者、一般市民
	どのくらい (具体的 数値で)	(敷地内施設) 年末年始を除く毎日
平成30年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(中央青少年会館多目的広場) グランド土質改良。視覚障がい者誘導用シート敷設。</li> <li>(中央青少年会館) 岐阜市の青少年や若者等を対象とした各種講座の開催。青少年の健全育成に関わる各種団体の活動拠点や集会場としての維持管理。青少年や若者にとっての相談先、居場所としての環境整備。</li> </ul>	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1) 人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	47,424	1,560	49,452	1,560	49,452	1,560
嘱託職員	10,608	1,040	10,712	1,040	10,712	1,040
アルバイト	0		0		0	0
<b>計(A)</b>	<b>58,032</b>	<b>2,600</b>	<b>60,164</b>	<b>2,600</b>	<b>60,164</b>	<b>2,600</b>

### (2) 物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	委託費	2,538	2,704	3,560
	工事・修繕費	3,043	1,616	2,270
	光熱水費	1,538	1,627	1,937
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>12,431</b>	<b>11,259</b>	<b>13,079</b>

### (3) 総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	70,463	71,423	73,243

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	1,629	1,685	1,627
その他			
<b>計(F)</b>	<b>1,629</b>	<b>1,685</b>	<b>1,627</b>

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	68,834	69,738	71,616

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	中央青少年会館利用者	中央青少年会館利用者	中央青少年会館利用者
受益者数	34,412	31,651	31,317
受益者負担額(千円)	1,629	1,685	1,627
受益者負担率(%)	2.3%	2.4%	2.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,000	2,203	2,287

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開館日数	単位	日
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	281	280	280
実績値	281	280	280

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	中央青少年会館利用者数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	35,000	35,000	35,000
実績値	34,412	31,651	31,317

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	青少年を取り巻く社会環境は、開館当初の設置目的からかい離しているが、現在は青少年の自己実現を支援する社会教育施設として大きな役割を果たしている。 管理している敷地は、中央青少年会館を含めた6施設が複合的に共存しており、敷地全体の管理運営は所有者である市が担う必要がある。
<b>効率性</b> (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	現在、中央青少年会館の建物の管理運営に加えて、敷地の維持管理も担っており、管理系の職員体制は正職2名で移転前と変動ないことを考慮すると、効率性は向上している。 中央青少年会館本体事業の管理運営に限った上で、指定管理者制度の導入により、効率性が上がる余地はある。
<b>有効性</b> (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	財産維持管理については、予算の範囲内での環境整備や補修工事を随時行っている。又、連絡調整拠点として敷地管理を一元的に担うことで、複合施設全体の円滑な運営に貢献している。現在、岐阜市の青少年、特に中・高・大学生にとり自己有用感を得ることのできる、居場所や拠り所として有効に活用されており、今後は、隣接するエールぎふとの連携を強化し、困難を有する若者の社会的自立を支援する施設として、事業を着実に進めていく。
<b>公平性</b> (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	青少年及び青少年の育成や公教育に関わっての施設利用の他に、中央青少年会館の「貸館」的要素として、市民の「生涯学習」的利用も教育委員会として認めている。その場合は岐阜市青少年会館条例に定める施設使用料を徴収しており、受益者負担として適正と考えている。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	改善	現状の実施方法は「市直営」であるが、効率性②に記したとおりである。但し、現在、中央青少年会館が実質的に担っている若者自立支援に関わる事業について、直営館から他の4青少年会館を指導する立場で事業運営にあたっており、指定管理者に委ねることが適切な事業かどうか、慎重に検討すべきと考える。